



労働政策研究報告書 No.200

2018

JILPT : The Japan Institute for Labour Policy and Training

キャリアコンサルタント登録者の  
活動状況等に関する調査

労働政策研究・研修機構

# キャリアコンサルタント登録者の 活動状況等に関する調査

## ま え が き

2016年4月の国家資格化に伴って、キャリアコンサルタントに対する社会的な期待は大きく高まっており、各方面でキャリアコンサルティングの一層の普及促進が求められている。

従来、キャリアコンサルタントの実態調査は数年ごとに過去3回（2006年、2010年、2013年）行われてきたが、ここ数年は調査が実施されておらず、国家資格化以降の実態把握は十分に行われていない。

そこで、本研究では、今後、キャリアコンサルタントがより一層確立された専門家として発展し、キャリアコンサルティングがクライアントに利用されやすい社会的インフラストラクチャーとなることを目指すべく、国家資格キャリアコンサルタントの登録者を対象に調査を行い、その働き方や活動状況等について実態を把握し、その現状と課題を明らかにすることを目的とした。

特に、本調査では、国家資格化以降のキャリアコンサルタントの実態把握を行うことを中核的な問題意識としつつも、過去3回、関連調査が行われているため、その経年比較も念頭に置いた。具体的には、過去の調査項目を大幅に取り入れる形で質問項目を設け、その比較を行った。

調査の結果、キャリアコンサルタントの主な活動領域として「企業領域」がこの10年で大幅に拡大していた。また一方で、「企業領域」以外の領域も約6割を占めており、特に、医療機関、福祉施設、自治体等での様々な活動が、漸次、拡大していることも示された。これらの結果をはじめ本調査結果の多くは、各領域で活動するキャリアコンサルタントは常に一定の政策的、制度的な枠組みを求めており、今後も、継続的・持続的にキャリアコンサルタントが活動しやすい環境を整備していく必要性・重要性があることを示していた。

国家資格となりまだ間もない段階でのキャリアコンサルタントの活動状況等に関する本調査結果には、今後のキャリアコンサルタントの行く末や発展の可能性をも占う大まかな方向性が示唆されていたと考える。本報告書が、今後のキャリアコンサルティング施策に貢献し、寄与するものとなれば、幸いである。

2018年3月

独立行政法人 労働政策研究・研修機構  
理事長 菅野和夫

## 執筆担当者（執筆順）

氏名	所属	担当
下村 英雄	労働政策研究・研修機構 主任研究員	第1章、第2章 第5章、第8章 第9章
高橋 浩	ユースキャリア研究所代表、日本キャリア開発協会理事	第3章、第4章
前田 具美	特定非営利法人キャリアコンサルティング協議会	第6章
新目 真紀	職業能力開発総合大学校 准教授	第7章

# 目次

## 第1章 背景・問題・方法

1. 背景	1
2. 問題	2
3. 方法	5
4. 各章のまとめ	6
5. 政策的インプリケーションおよび今後の課題	8

## 第2章 キャリアコンサルタントの活動状況

1. 年齢・性別・主な活動地域	11
2. 対応可能な領域および現在の主な活動の場、得意分野（専門分野）	14
3. 現在の就労状況、職場の業種、現在の職種	17
4. 現在の勤務先の全従業員数、最近1年間の税込み年収	21
5. 「キャリアコンサルティングに関連する活動」の実態	25
6. 「キャリアコンサルティングに関連する活動」の専業・兼業状況および活動通算年数	28
7. 「キャリアコンサルティングに関連する活動」と生計状況	30
8. 「キャリアコンサルティングに関連する活動」の内容	32
9. キャリアコンサルティングの活動状況（まとめ）	34

## 第3章 キャリアコンサルタントの相談内容

1. 直近1年間の活動者の人数	37
2. 相談内容について	40
3. 難しさの起因	45
4. 「難しい相談」への対応	49
5. 自由記述における「難しい相談」への対応	58
6. 対応度を規定する要因	64
7. 「難しい相談」とその対応（まとめ）	65

## 第4章 キャリアコンサルティングを行っていない理由

1. 休止者の属性等	67
2. 活動休止の理由	74
3. 資格取得の理由	78

4. 活動開始（再開）の意向について .....	82
5. 今後の活動について .....	86
6. 休止者の実態と課題（まとめ） .....	94

## 第5章 キャリアコンサルタントの資格取得状況

1. キャリアコンサルタントの資格取得状況および年齢・性別の特徴 .....	96
2. 取得資格別の就労形態・業種 .....	100
3. 取得資格別の職種・役職 .....	103
4. 取得資格別の活動内容 .....	105
5. 取得資格別の活動年数、専業・兼業の割合 .....	108
6. 取得資格別の生計状況、年収 .....	110
7. 取得資格別の意識 .....	113
8. 取得資格別の主な相談内容 .....	116
9. キャリアコンサルタントの資格取得状況（まとめ） .....	118

## 第6章 キャリアコンサルタントとしての能力の維持・向上等について

1. 更新講習の受講状況について .....	122
2. キャリアコンサルタントとしての能力の維持・向上について .....	124
3. キャリアコンサルタント同士の情報交換や交流のネットワークについて .....	128
4. 今後、キャリアコンサルタントが活躍しやすい環境を作るために効果的な対策について .....	130
5. 今後、キャリアコンサルタントが活躍しやすい環境を作るための上記以外の効果的な対策について .....	133
6. キャリアコンサルタント関連会員組織の所属状況について .....	134
7. キャリアコンサルタントとしての能力の維持・向上等について（まとめ） .....	137

## 第7章 キャリアコンサルタントの意識と今後の課題

1. はじめに .....	138
2. 「キャリアコンサルタント」としての自分の活動に対する満足度 .....	138
3. 「キャリアコンサルタント」の資格が、日々の仕事や生活に役立っているか .....	142
4. 「キャリアコンサルティングに関連する活動」を行う上での課題 .....	145
6. キャリアコンサルタントの今後の活動 .....	153
7. 重視する活動による新しい役割の予測 .....	155
8. キャリアコンサルタントの意識と今後の課題（まとめ） .....	156

## 第8章 キャリアコンサルタントの自由記述

1. キャリアコンサルタントの自由記述 .....	158
2. キャリアコンサルタント登録制度の良い点 .....	158
3. キャリアコンサルタント登録制度の課題 .....	164
4. キャリアコンサルタント登録制度の推進支援策① .....	172
5. キャリアコンサルタント登録制度の推進支援策② .....	180
6. キャリアコンサルタントの自由記述（まとめ） .....	190

## 第9章 キャリアコンサルタントの活動状況の経年比較（前3回調査との比較）

1. 前3回調査との比較 .....	191
2. 年齢・性別・活動地域の経年比較 .....	193
3. 業種および関連資格の有無の経年比較 .....	196
4. 活動の有無、主な活動の場、専任・兼任の状況の経年比較 .....	198
5. 就労形態・就業形態、活動状況、年収の経年比較 .....	201
6. 主な相談内容および最も困難な相談内容の経年比較 .....	206
7. 「キャリアコンサルティングに関する活動」を行う上での課題の経年比較 .....	210
8. まとめと示唆 .....	211

## 資料

調査票 .....	217
-----------	-----